

1998

都市環境デザインモニターメッセレビュー

実施結果報告書

1998年9月

都市環境デザイン会議

目 次

はじめに	
1. 開催概要	2
2. レビュースケジュール	3
3. 発表・アンケート報告	
株式会社 I N A X	4
住友軽金属工業株式会社	5
小野田 O L B 会	6
ヨシモトポール株式会社	7
日本電池株式会社	8
興建産業株式会社	9
株式会社リョーフ	10
金門電気株式会社	11
アイエルビー株式会社	12
日本興業株式会社	13
株式会社コトブキ	14
鹿島建設株式会社	15
東芝ライテック株式会社	16
伊藤鉄工株式会社	17
岩崎電気株式会社	18
黒崎窯業株式会社	19
4. 参加会員リスト	20

はじめに

本レポートは都市環境デザイン会議 (JUDI) 主催の「1998 都市環境デザインモニターメッセ・レビュー」の実施成果を記録集としてまとめたものです。

これまで都市環境デザイン会議 (JUDI) の定時総会にあわせ「都市環境デザインモニターメッセ」の場を設定し、多くの製品、技術開発事例等のプレゼンテーション、モニター批評等を行ってまいりました。過去5回の「都市環境デザインモニターメッセ」に登場した製品等も100例近くに上ります。

今年はこれまでのモニター事例の「その後」として、モニター側とプレゼンテーション側の意見交換、交流の場として企画しました。モニター事例のその後の活躍、JUDIの会員の手による更なる実施事例も目にすることも多くなり、その意味でも、「レビュー＝その後」と題して、この機に実施事例報告、改良事例、新しい技術開発の方向性などの報告、交流を期待したものです。

従来のモニターメッセと異なるのは、参加企業の方々の負担軽減のためパネル展示を無くし、OHPによるプレゼンテーションに簡素化したところにあります。また会場を1つに絞った結果、全出席者が意見交換に参加し得た点などです。

参加申込み企業は当初の予想を超え、16社を数え、短い時間配分でのプレゼンテーションでプレゼ担当の方々にはご苦勞をおかけした上、質疑時間の不足など、反省すべき点も少なくありませんでした。しかしアンケート表の記入が思いのほか多く、参加企業の方々には生資料を提供し、今後の企業活動への参考になったことと存じます。

また募集事務局、報告書編集を従来は団株式会社をお願いしておりましたが、今回はJUDI担当の所属のアプル総合計画事務所とせざるを得なかったため、手作りの感は否めませんが、ここにまとめることができました。ここに参加者の皆様ならびに事務局等で協力していただいた方々に御礼を申し上げます。

1998年9月

都市環境デザイン会議・事業委員会

モニターメッセ 担当 中野 恒明

(アプル総合計画事務所・代表)

1998

都市環境デザイン モニターメッセ・レビュー

開催の主旨

これまで都市計画デザイン会議（JUDI）の定例総会にあわせ「都市環境デザインモニターメッセ」の場を設定し、多くの製品、技術開発事例等のプレゼンテーション、モニター批評等を行ってまいりました。過去5回の「都市環境デザインモニターメッセ」に登場した製品等も100例近くに上がります。

今年はこれまでのモニター事例の「その後」として、モニター側とプレゼンテーション側の意見交換、交流の場としたいと企画いたしました。モニター事例のその後の活躍、JUDIの会員の手による更なる実施事例も目にすることも多くなりました。その意味でも、「レビュー＝その後」と題して、この機に実施事例報告、改良事例、新しい技術開発の方向性など、多くの示唆に富んだ交流を期待しております。

開催にあたって

この十数年来、わが国においては魅力ある都市空間を創造する様々な取り組みがなされてきております。多くの公的機関や都市環境にかかわる企業において、都市景観を美しく、またうるおいのあるものにするための活動が行われています。

「都市環境デザイン会議」は、都市の環境をより良いものとするために、分野の違いを越えて積極的にこれに関与したいと考える人たちの集まりです。土木・建築・造園・デザイン・照明など多岐にわたる分野、学会、行政、コンサルタント、設計事務所など多くの立場の人々の参加（今年1月1日現在で会員数536名）を得て、全国的な活動を行ってきております。これは、ひとえに皆様方のご理解、ご支援、ご努力によるものと深く感謝しております。

「都市環境デザインモニターメッセ」は会議の総会日にあわせ、1993年からはじめ、今年で6年目を数えます。本年度も、会議のメンバーらが自ら社会的、専門的なモニターとなり、都市環境の開発、素材の供給、技術の開発開発などに関与される産業界の方々のご協力を得て、双方向型の情報交換の場として開催します。需要側の声、供給側の事情、取り組み方などの情報交換を活発に行う機会として、本メッセが良好な都市環境の形形成に役立つことを願っております。

より豊かな都市創造と企業の発展に向けて、本活動の主旨にご理解をいただき、積極的なご支援ご協力をお願いする次第です。

都市環境デザイン会議

開催概要

名称：'98都市環境デザインモニターメッセ・レビュー

開催日時：1998年7月11日(出)

予定時間

15:45～18:35（モニターメッセ）

18:35～20:30（懇親会）

会場：東京・品川天王洲アイル東京MIビル
東京都品川区東品川2-2-4
TEL.03-5462-4711

主催：都市環境デザイン会議
〒113-0033 東京都文京区本郷3-16-5
TEL.03-3812-6664

運営：都市環境デザインモニターメッセ・レビュー
運営事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15
TEL.03-3816-5831
FAX.03-3816-4249

モニター：各省庁・自治体担当及び関係者・建設
計画コンサルタント・建築設計事務所・
各種デザイナー・大学教授・建設業
メーカー等（以上都市環境デザイン
会議メンバー）

都市環境デザインモニターメッセ・レビュースケジュール

15:45～ あいさつ 主旨説明	会社名	プレゼン担当者	タイトル
発表順 1 15:50～16:00	(株)INAX	永松明子	“やさしい暮らし” INAX としての 【人にやさしい街づくり】
発表順 2 16:00～16:10	住友軽金属工業(株)	鈴木 稔 他3名	ハニカム・パネルの開発から次世代への展望
発表順 3 16:10～16:20	小野田OLB会	松林秀佳 他9名	低騒音、排水性インターロッキング舗装システム 【レイニージョイ】の施工現場 - その後 -
発表順 4 16:20～16:30	ヨシモトポール(株)	三石 傑 飯島秀雄 瀬口志郎	コンクリートと鉄素材の活用
発表順 5 16:30～16:40	日本電池(株)	田中隆雄 寺田三平	ライトパイプの最新納入例・施工例紹介
発表順 6 16:40～16:50	興建産業(株)	永吉哲郎 市川和夫 内山庄寿	デザイン住宅擁壁 D-WALL の現状と今後
発表順 7 16:50～17:00	(株)リョーワ	佐藤哲典	透水性サンセラロックと植栽グリエのその後について
発表順 8 17:00～17:10	金門電気(株)	菅原文雄 小谷政紀	照明メーカーの考えるストリートファニチャー
発表順 9 17:10～17:20	アイエルビー(株)	柳沼宏始	透水性ILBの現状と機能回復
発表順 10 17:20～17:30	日本興業(株)	三輪 西川 伊賀	・緑化補助舗装材（グラススペーサー）のその後 ・透水性舗装材のその後
発表順 11 17:30～17:40	(株)コトブキ	清水邦彦 小林大祐	VINET 都市緑化について
発表順 12 17:40～17:50	鹿島建設(株)	柵瀬信夫	コンクリートバック洗浄とエイジングのその後
発表順 13 17:50～18:00	東芝ライテック(株)	大野 功	“ブレア” シリーズの開発について
発表順 14 18:00～18:10	伊藤鉄工(株)	篠崎 鈴木 瀬川 浅山 清水	ラスガードCAST（耐候性鋳物）
発表順 15 18:10～18:20	岩崎電気(株)	筒木 大谷 根岸	新型光源のレビュー
発表順 16 18:20～18:30	黒崎窯業(株)	相津知秀 柏原幸雄 藤原久敬	NUBRIK

18:30～ 講評 懇親会へ

18:35 終了

会社名 株式会社 I N A X

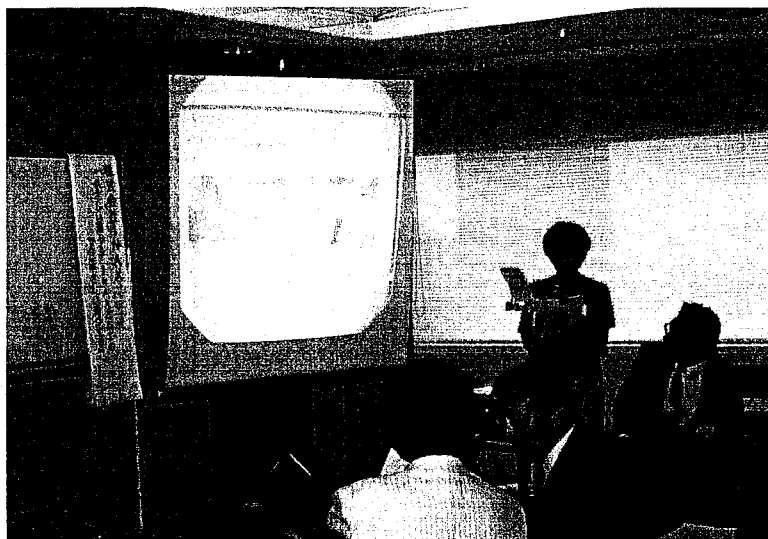
タイトル “やさしい暮らし” INAXとしての『人にやさしい街づくり』

所在地 〒163-1522 新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー22F

TEL 03-5381-7434

FAX 03-5381-7442

プレゼン
担当者 永松明子



◆アンケート結果

- ・階段踏面の視認性を高める案/光の反射角度を変えることは考えられないか。
- ・社会的に意味のある技術資料と評価します。メーカーとしての姿勢は大いに評価できると思います。
- ・冊子は非常に良くできている。建築設計編があれば是非入手したい。プレゼン工夫要(逆に印象的だった)
- ・こういうプランニングガイドは大いに結構、評価できる。光の反射や発光性のものなど(他社の取り組み?)等との比較などがあるとさらによい。またコスト検討資料としての機能が欲しい。
- ・いい冊子なので発表を上手にするとよかった。
- ・視覚障害者ブロックにターゲットを置いたことは大変結構です。
- ・ソイルセラミックス→廃棄物利用への展開を(混合から全材へ)
- ・ハンディに使用して、また幅広く押さえており、よくまとまっている。マニュアルとして使えそう。役に立つ。更に研究を深めて下さい。
- ・視覚障害者にとっての重要な情報源です。→の部分の手がかりについて良い資料の視点ですが、点字ブロックを使っている場所別アンケートがあってもよい(例えば、駅、歩道等)これを詳しく調べると、案外、歩道は頼りにしていないとか…。
- ・パンフレット内容は良くできていて役に立つ。
- ・企業がこのような社会的な問題を扱ったパンフレットをつくることは好ましい。
- ・最近の屋外照明は、高圧ナトリウムが多い。このような道路照明の下で黄色が夜間どう見えるのか、データが欲しい。
- ・景観材としての視点も入れていくことになるのでしょうか?
- ・実質的でよくまとまった内容で好感が持てる。景観的に配慮した施工例やデザイン例ももう少し提示されると、機能的与件とデザイン面の両面で参考になり、よりよいものになる。
- ・今後に期待しています。
- ・建設廃棄物リサイクルのシステムに組み込んだ材料へ発展させることが重要ではないだろうか
- ・点字ブロックは黄色である必要はない。黄色になった経緯も大したことはない。視覚障害者にとっては輝度差で充分と思う。
- ・時間不足で気の毒であった。とらえたテーマは有意義であると思います。
- ・大変に重要な研究だと思います。我々の一番苦手の分野について新たな情報をいただきました。このような基礎的情報をもとに、いかなるデザインをすべきか重要になると思います。(視覚障害者にとっても、健常者にとっても両者にとっていいものを作るべき。)
- ・障害者行動の状況の具体的なもの、事例をもっと多く用意して欲しい。視覚障害者と身体障害者との関係が常に問題になることについての提案、考え方のバリエーションを示せないか。
- ・時間がなくて残念。見やすいパンフのようで好感。10分では過大なテーマだったか。
- ・ブロックの凸部の高さ、形状(断面)をどう考えるのか? 凸部だけ色が異なる製品が欲しい。清掃の問題はあるが溝にはできないのか? 高すぎると高齢者の歩行に危険。
- ・凸凹のデザインイメージが悪い。スリット型とか。
- ・黄色を原則とするものの、色彩の輝度(色相差ではなく彩度差)の工夫で、他の色彩も導入できる素材開発をお願いしたい
- ・誘導ブロックに関して自治体により基準が異なり困っている。より科学的な情報提供を期待しています。特に黄色は絶対的なものか?
- ・この様なマニュアルを作られたことはすばらしいと思うが、街中がこの様な仕上げになるのはどうかと思う。
- ・デザイン(個別の通り等)的な工夫をするとどうでしょう。

会社名 住友軽金属工業株式会社

タイトル ハニカム・パネルの開発から次世代への展望

所在地 〒105-0004 港区新橋5-11-3 新橋住友ビル

TEL 03-3436-9865

FAX 03-3436-9931

プレゼン 鈴木 稔 他3名
担当者



◆アンケート結果

- ・床材に展開することは考えられているか？
- ・良さは熟知している。何とかコストダウンして欲しい。
標準設計データインターネット興味あり、アドレスは？ プレゼンOK
- ・軽快なデザインを可能とする点で優れた素材だと考えられるが、パンフレットにその特性を記すのに、良い点だけでなく、気を付けるべき点、間違った使い方による事故などをきちんとアナウンスしておくべきではないか。また環境資源的に他の材料を使うことに対する有利不利を言う方が良い。コストの記述。
- ・技術的にすばらしいが、今後コストダウンをどうされますか？
- ・75,000円/㎡以下を希望。耐火対応の提案をお願いしたい。
- ・対比する素材(部位)とのコスト比較を明らかに。
- ・土木構造物(橋梁、鉄道高架構造物、ダム等)への活用の可能性を広げて欲しい。その際、防音性能を高めるべき、またコストダウンも問題。
- ・このハニカムどうやってつくるの
- ・シンプルでシャープで美しい。汚れに対してはどうか？ 低価格化してほしい。
- ・千葉駅東口での施工例は、軽快で現代的素材として大変好感が持てた。(照明デザインを担当しました)
- ・標準化、性能評価とスペース対応の折り合い(コスト面も含めて)が必要だろう。
- ・コスト上の問題もあり、使用出来ない場合も多い。
- ・ハニカムの特性を活かしたデザインの特性をもっと強調されると良いと思う。
- ・優れた材料だと思います。エッジの処理が少々気になります。
- ・技術ノウハウを公開して、市場を拡げられてはどうか。
- ・時間の管理はまあまあである。コスト競争が課題と思う。
- ・以前から当製品の活用の可能性が幅広いものと考えていた。
- ・コストダウンにより、一般的な普及にする必要がある。(15万円/㎡→10万円/㎡)
- ・低コスト化は大切なことですが、現在いくらのものをいくらに出来るのですか？ (15万円/㎡→10万円/㎡)
- ・施工例もいいが、収まりも見えなかった。
- ・空隙部を充填することは考えないのか？
ex) 軽量コンクリートやプラスチック、発泡材を詰めて、遮音遮熱性能を向上できるはず。
RCの補助構造物にもなるか？
コンピューター機器の放熱に使える。キャンプ用品(折りたたみイス、テーブル類)
- ・今後の建築資材は5万円/㎡が目標。
- ・コスト削減が至上命令になっている現在、少しでも価格を下げて頂かなければ採用が難しい
- ・多様な利用事例が出てきて、その可能性が広がっている印象がある。もう少しコストダウン出来れば利用する機会が増えるだろう。
- ・環境問題との関わりの説明がもっとほしかった。
- ・軽量化、省エネに大きく貢献する素材だと思います。使ってみたい材料ですが、コスト面でもう少し改良できないものでしょうか。
- ・身近な使用例を提示してもらいたい。(事例:建物、街並みなど)

会社名 小野田OLB会

タイトル 低騒音、排水性インターロッキング舗装システム
『レインジョイ』の施工現場-その後-

所在地 〒113-0033 文京区本郷1-28-23 弓町秩父ビル

TEL 03-5689-5033

FAX 03-5689-5039

プレゼン 松林秀佳 他9名
担当者



◆アンケート結果

- ・ニューオルグカラーは良いと思います。
- ・2倍のコストは少し高いと思います。もう少しコストダウンを図る必要を感じます。
- ・大変良い商品であることがわかる。プレゼンも良い。建築の外部空間用に意匠性を高めた商品を。大量に売れたら、コストダウンできるか？
- ・排水性能の経年変化、エージングによる損傷や欠損等の様子、回復機能まできちんとフォローしてあり大変好感が持てる。機能回復コストの問題を詰めれば、大いに採用の可能性あり。ただし機械の小型化、軽量化がさらに課題となるだろう。
- ・機能性はすばらしい。デザイン的にも、もっと研究してください。
- ・メンテはどのくらいの頻度でやればよいのですか？
- ・路面の不透水アリのコンセプトが異なるか？あるいは不透水アリの効用は何か？
- ・排水性、透水性についてアスファルト舗装との差をもっとつけられるようにすべし。
- ・排水を側溝でなく地中に流す方法があるともっと環境にやさしい。
- ・説明がよく、製品の性能について分かりやすい。目地の溝がエア・ポンピングより低騒音は大切な機能だと思うが、目地の溝が問題ではないだろうか。
- ・カタログではよくわからないところもあるが、色むらがあまり美しくないように感じる。
- ・素材感が欲しい。
- ・より高規格道路（交通量が多い）への対応を研究して欲しい。
- ・低騒音について解説されているが、ブロックの組み合わせによる騒音の発生がないのか疑問である。
- ・他社とのデザインの違いも出して欲しい。
- ・最終的に下水管に排水しない透水性のシステムにはならないか。
- ・低騒音性に関する数値的証明及びオーソライズが必要。プラスメンテナンスへの配慮。
- ・レインジョイと透水性アスファルトとの透水性の優位差はよいと思う。時間管理はよかった。機能回復のコスト？
- ・技術的工夫の結果が良好な点についてはよかったと思います。路面デザイン（特に色彩）について工夫が欲しい。
- ・機能保持のためのシステムとコストを開発していただきたい。（現状は高すぎる）
- ・再生処理が商売になりそうですね。
- ・原材料の適合性？ リサイクル資源可能？
- ・街のイメージが暗くなる。（タイルの色彩研究が必要）楽しさが無い。
- ・基盤材へはリサイクル材の利用について考えてみて下さるといいなと思います。近年自治体からは再生製品への要望が高いものですから。
- ・性能的には可能性を有する製品である。但し、色や素材感などデザイン上の理由から、あまり積極的に利用しようと思わない。ここが改善必要な点です。
- ・機能回復車のメンテナンスのコストダウンの開発。
- ・騒音が少なくなることは良いと思う。非常にわかりやすい説明でした。
- ・インターロッキングの透水性だけでなくグレーチング小溝のようなものと組み合わせたらどうか。

会社名 ヨシモトポール株式会社

タイトル コンクリートと鉄素材の活用

所在地 〒100-0006 千代田区有楽町1-10-1

TEL 03-3214-1552

FAX 03-3212-1751

プレゼン 飯島秀雄 瀬口志郎
担当者



◆アンケート結果

- ・コンクリートの質感が大切。ツルツとしないほうがいいのではないのでしょうか？
- ・一番のメリットは何でしょうか？ デザインもとてもよいと思いますし、コンクリートの部分にいろいろ入れられることもいろんな可能性を持つ製品だと思います。
- ・箱形のデザインもう工夫（センサーの？）八角形が面白い。貼紙防止が面白い。鋼管一体型 good。地場骨材利用good。先進事例もけっこうだが一般普及形をグッドデザインにしたらもっとよくなる。
- ・箱物取り付けのときのデザインはさらに工夫の余地がある（宮城）丸型から八角形へ移行する部分のディテールはいた だけない（北九州）貼紙防止のときのデザインは好感もてる（沖縄）
- ・コンクリート・鋼管の一体化デザインは悪く ない。大いに進めるべきであろう。また地場素材の混入も大いに結構。
- ・コンクリートの素材を生かした製品展開はいいと思います。
- ・考え方、デザインはよいが、長い将来のメンテはどうか？
- ・コンクリートボールの事故例、コンクリートボールの汚れ具合の例を教えてください。
- ・コンクリートと鋼管柱、上部が鋼管だと錆が出てこないか？ 又は、汚れが気にならないか？
- ・地域の自然素材を使うことよし。
- ・色々工夫していて面白い。
- ・地域の石材を入れる試みはよいと思う。貼紙防止の凸凹部の汚れはどうか？
- ・今後使ってみたい素材だ。
- ・標準化、コストダウンという流れと、より個別的（地場素材の改用等）ということの折り合いは？
- ・デザイン性、機能性、地域性に配慮した大変よいものであると思う。表面の仕上げが、断面形状等に色々なバリエーションを期待したい。
- ・貼紙防止塗装が汚く見える施工例を見たことがあるが景観上よろしくない骨材以外でも地域性を出してほしい。
- ・組み合わせるメリットがより期待できない。プラス、メリットを説明してください。
- ・説明はOHP中心でわかりやすかった。地域性を表現する素材と合体が可能なのは、すばらしい。数 10年は錆びない自信あり
- ・デザインと技術開発の工夫について良いアイデアだと思う。錆等に対する適切な技術工夫がされていることには OK!
- ・使い方によっては大変良いポールです。
- ・きれいな仕上がりが好感。
- ・着色の可能性は？
- ・貼紙防止は良いアイデアだ。コンクリートと鋼管のバランスは良い。
- ・照明柱、ポラード、サインの柱を一体素材で利用できることで、積極的に設計に当入しています。
- ・非常にバリエーションが増えた印象。地元産の石を使うといった考え方は好感が持てる。貼紙防止のデザイン処理も面白い
- ・地域の石を使った柱や貼紙防止対策など良く考えられていると思う。
- ・ガラスカレットなど問題となっていますが、これを使用した製品の可能性は如何でしょうか？ すばらしい製品展開がされています。
- ・地場産出素材の活用はすばらしい。混入材の開発PRするとか（産業廃棄物、建設廃棄物）を行ってほしい。
- ・組み合わせとしては落ち着きもあって良い。

会社名 日本電池株式会社

タイトル ライトパイプの最新納入例・施工例紹介

所在地 〒105-0003 港区西新橋1-8-1

TEL 03-3502-6550

FAX 03-3502-6551

プレゼン 田中隆雄 寺田三平
担当者



◆アンケート結果

- ・高速道路に設置する場合、ドライバーの視点よりやや低めに設置すると良いと思いますが。
- ・使用してみたい製品ですがコスト面ではいかがでしょうか
- ・施工例いづれも好印象。良い製品だと思う。
- ・デザインをもっと勉強して下さい。光源のデザインの可能性を広げる素材だと考えられる。優れたデザイナーと組めば従来にないソフトな空間照明を形成することができるだろう。道路という公共土木と直に組んでいるようだが（このデザインは未熟で良くない）、別の場面での空間デザインをするよう心がけられれば、基盤でなく一般都市部分での採用も考えられるのでは…。
- ・デザインの的に良くなるが、清掃やメンテの面はどうか。
- ・大変良いシステムです。
- ・歩道上のライトで高さによってはグレアは発生しないか（人に対しても車両に対しても）
- ・積雪寒冷地でのジョイント部に問題はないか。高欄への設置は運転者にまぶしくないか。2車線の場合、中央帯側の車線の照度が路肩側の車により妨げられないか。
- ・今度使ってみたい。詳しい資料が欲しい。
- ・橋の高欄に付けた場合、イタズラされるようなことはないか。
- ・運転者の視線でまぶしくないか？
- ・基準への対応の延長上に照明デザインが見えてくると言う可能性を追求して欲しい。
- ・高欄部分への使用は新しいイメージで良い。今後、使用量が増えることによっては更にコストダウンされることを望む。
- ・景観演出の面に一工夫あったらよい。リズム。陰影。
- ・曲線半径はどの程度まで可能なのか。
- ・ユニークなアイデアを事例に多く取り入れて成功している。照明デザインとしても成功している。（特に海ほたるはOK）
- ・光源としていい。収めるもののパターン、バリエーションも重要と思う。
- ・最小太さ（径）を小さく！
- ・光がもれない、場所をとらない、と合理的だがあとはコストの問題。
- ・交通照明（道路照明）以外の使い道の開発の必要性。照明の色は変えられるのか？
- ・事例がわかりやすい。もっと身近な例があれば。維持費等を事例で示していただければよかった。
- ・夜間の安全性にとっても道路線形がよくわかり、役に立つと思われる。夜間の演出（デザインの上でも）にも良いと思う。
- ・特徴的な製品だ。細くすることにも積極的なのでよい。
- ・もっと長くできたり、曲がったりできると面白いかもしれない。

会社名 興建産業株式会社

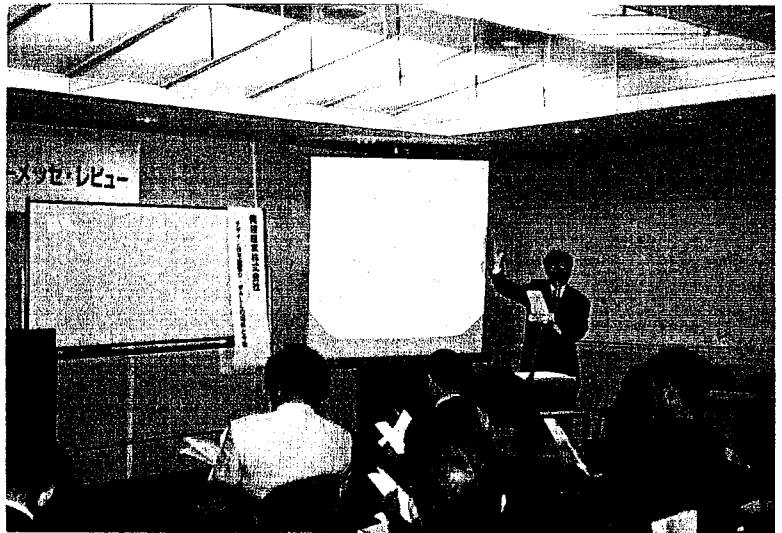
タイトル デザイン住宅擁壁D-WALLの現状と今後

所在地 〒183-0026 府中市南町5-38-3

TEL 042-365-3337

FAX 042-365-3339

プレゼン 永吉哲郎 市川和夫
担当者 内山庄寿



◆アンケート結果

- ・コンクリートの素材感・エージングを生かすことを主眼とすべきだと思います。
- ・低彩度の色を付けることはよいのではないのでしょうか？コンクリートの素材感を生かすテクスチャーをつけると住宅地も擁壁も少し楽しくなるのでは？
- ・プレゼンが良かった。切実感が良かった。
- ・誰がプレーンが汚いと言ったのか？変なデザインよりプレーンの方がよい。
- ・とても大切なことである。是非研究を完成させて good designを開発して下さい。
- ・控えめなデザインのほうがよい。
- ・色の考え方の方向は概ね良い方向にある。色彩はたしかに薄いパステル調が建築では多いが、同様になる擁壁のほうがよいかどうか問題、むしろ決めたほうが良いのではないか。
- ・本質的にはエージングの問題もあるし、「環境擁壁」として花や緑やコケなどを共生する擁壁を開発する事がよいのでは？
- ・あまりへんなことはやめてくれ、素材は自然のままがいい。
- ・多様性に期待したい。
- ・プレーンが駄目なのではない。むしろデザインされた、あるいは着色されたものの方が問題。
- ・土が入り込めるような凹凸を追求したら。
- ・色を付けるより、壁のスケールをB・DOWNする事に配慮して型枠を工夫し、パターン、ショット等の範囲で工夫した方がよい。
- ・コンクリートはフェイクに合わない材料。
- ・壁面緑化が可能なウォールの追求は？
- ・あまりオーバーデコレーションにならない方がよい。
- ・色彩については彩度を抑さえ、ほのかに色味があるという程度がよいのではないか。
- ・着色は大きな面積になると明らかに人工的に見えてしまうのでやめた方がよいと思う。
- ・特殊技術が適用できる場所が他にもあるのではないか？
- ・デザインは装飾ではありませんので、出来るだけ地味でありながら飽きのこないデザインとすることが御社の商品特性には適合していると思います。
- ・コンクリート素材のバリエーションを考えるのではなく、全く違った素材としてとらえ直す開発をすべき。
- ・ワンポイントに処理する技術として活用してはどうか、ペイントよりはよい、但し、色を前面に出すことは疑問。
- ・製品として変な物を作るのではなく「このようなこともできる」をPRすべき。
- ・プレゼンテーションが率直で良かった。
- ・努力の工夫については感心。
- ・今後もこの方向について！OK。
- ・特殊な場所についての新技术の可能を広く知らしめる必要とする。
- ・仕上材を埋め込むプレキャストコンクリートがよい。
- ・イーザーオーダータイプを用意するとデザイナーが相談しやすくなる。
- ・壁 unit 自体の形状の多様化。
- ・成瀬さんのご意見同様「地」になる擁壁づくりを目指していただくと、採用可能性が高くなります。
- ・色の改善は認められる。
- ・景観に対する理解のある企業としてのイメージを強く感心しました。
- ・説明マトリックの様にきれいに分類化をデザインではしにくい。
- ・事例での研究開発を望みます。・住宅地は“地”づくりだ。
- ・苔、カビ、シダが生えても良いような落ち着いた落着きが必要である。
- ・組石造の直擁壁も追求して欲しい。

会社名 株式会社リョーワ

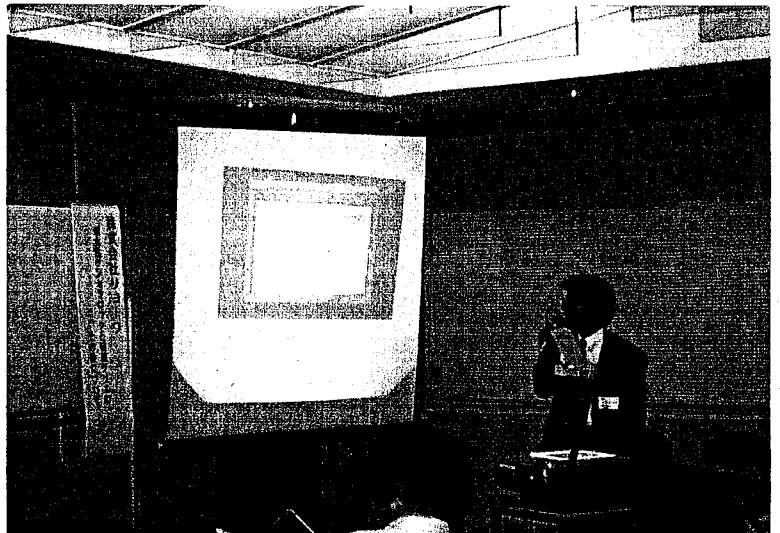
タイトル 透水性サンセラロックと植栽グリエのその後について

所在地 〒509-5171 岐阜県土岐市泉北山町10-10

TEL 0572-55-7666

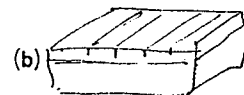
FAX 0572-55-8711

プレゼン 佐藤哲典
担当者



◆アンケート結果

- ・積雪寒冷地で、目地が氷ってしまいブロック自体があばれてしまうことはないか。
- ・目地に草が生えても良いのではないか。
- ・混色貼の時の色ムラがあまりきれいではない。
- ・タイルの適度な色ムラがほしい。
- ・目地部分を大きくとり、積極的に芝を生えさせたらどうか。
- ・透水性の水準についての、評価尺度がほしい。
- ・目地透水の場合、目地材のつまりが問題だと思う。
- ・他社と比べてみた時の、特徴ある視点がほしい。
- ・大版物300角等は、作らないのか。目つまりしないか。
- ・上部がタイルの場合とそうでない場合の違いを明確にしてほしい。
- ・時間配分は良かった。
- ・目地材の開発に工夫の余地あり。
- ・こうすればもっと吸水できる?(a)
- ・もう少し新しい提案があれば良いと思う。
- ・製品としては良いと思います。
- ・商品は良さそうだが、プレゼンの事例では、デザインがひどすぎて、印象悪い。早くまともなデザインの物件を実施して、プレゼンしないとまずいと思う。
- ・せめて、発表者は。「デザインは悪いが、当社の製品は良い」と言うべきで、どうもデザインが悪いことへの自覚が感じられないのが問題か?
- ・プレゼンも含めて、社としてデザインへの意識が低い。(少なくともUDIに売り込む為には)
- ・重量があるものの安定性を強調する施工例を時間経過とともに追われて広報する方が良いのではないか。この時の透水性の保持をどうするか。目地材の開発かメンテ方法の開発か。
- ・照り返しが少ない舗装のカラーバリエーションは?
- ・透水性ブロックは、製品ごとの特徴が乏しいので、特にコメントはありません。
- ・植栽グリエの強度は大丈夫か。
- ・目地透水+ α を考えてはいかがか。透水スリット?(b)
- ・表面のタイルは必要か?
- ・透水性についての実験データがほしい(科学的データ根拠)
- ・出目地が上までいかないものはないですか。(c)
- ・透水性が落ちない、目地材の開発?
- ・目地透水の場合の目地つまりへの対応が今後の課題としてやはり残る。
- ・透水性能と色や素材感(デザインの価値)とのバランスが必要、リサイクルにチャレンジしていることは評価できる、しかし、色や素材がもう少し自然なものにならないか? まだ人工的である。
- ・今後期待できるのではないのでしょうか。
- ・施工上の利点、欠点、コスト比較をしてもらいたい。
- ・苔が生えても、落ち葉がたまって味があるというデザインを求める。
- ・透水性材料に共通する課題でもある。



会社名 金門電気株式会社

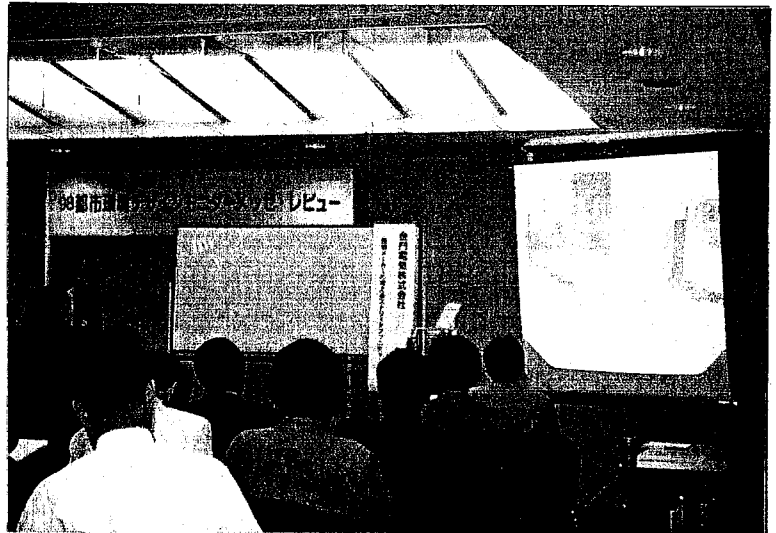
タイトル 照明メーカーの考えるストリートファニチャー

所在地 〒173-0004 板橋区板橋1-53-2 TM21ビル

TEL 03-5248-0201

FAX 03-5248-0020

プレゼン 菅原文雄 小谷政紀
担当者



◆アンケート結果

- ・街中にやたら照明光が出てくるのは困る。
- ・少しづつデザインが良くなっているのが、心地良い。(少しづつシンプルなデザインになっている。)
- ・デザイン志向を頑張って欲しい。
- ・複合化に向けての並々ならぬ意欲について大いに評価する。しかしそのような思想が背景にあるからか、デザインは少々うるさい感じが否めない。ところがファニチャーになると複合性が引込んで、デザインの単純さが表面に出てきた。ゴミ、水、環境などを複合させて、ファニチャー化するなど姿勢の一貫性が欲しいと逆に思ってしまう。
- ・どんどん進めて欲しい。
- ・電気メーカーしか出来ないものの提案を。
- ・複合化大いに頑張って欲しい。
- ・照明付ストリートファニチャーは、照明メーカーだから出来ることを追求して欲しい。
- ・トータルデザインの試みは良いと思う。
- ・若干、形や素材の主張が強いのではないか。(ストリートファニチャー)
- ・金属部分が多いので堅く見えてしまう。
- ・分電盤をデザインして欲しい。
- ・照明メーカーの原点(電気設備)という面からの都市デザインと言うことでデザイナーと協働出来るのでは。
- ・照明メーカーのストリートファニチャーとしての特性があまり感じられない。
- ・デザインのコンセプト自体が、不明解。
- ・今の時期に発売する意図が見えない。
- ・金属メーカーなのか、コンクリート屋なのか、遊具メーカーなのか、カタログからは判別できない。特色を出して欲しい。
- ・方向性は結構であると思う。太陽光発電との組み合わせはどうなのか。
- ・複合化の思想は良い。次の一步は、「照明メーカーの考える」ということ(メリット)をどのように主張するか。
- ・時間配分は良い。
- ・照明+ストリートファニチャーの開発をもっと積極的にするべきか。
- ・分電盤の工夫は良い。
- ・異分野への積極的な技術開発、参画の姿勢を今後も努力して欲しい。(トータル的に)
- ・姿勢は良いです。
- ・ユニット式階段への照明の組込み。
- ・ファニチャーとなる照明ということで自然素材(石、磁器等)を用いたものを探していたことがあったが、なかなかなかった。素材の工夫も今後展開されてはどうだろうか。
- ・分電盤とストリートファニチャーの一体化のチャレンジは評価できる。今でも分電盤は景観上の大きな問題なのでこれからもチャレンジして欲しい。
- ・ストリートファニチャーをトータルに考える姿勢は評価できるが、個々のデザインの質は改善の余地あり。
- ・JUDIのメンバーに提案をさせてみてはどうか。
- ・会社名からは、デザイン性の高い照明ポールや、ストリートファニチャーは想像出来ない。
- ・KXシリーズ780本の実績は大きく評価できる。
- ・PRをもっとして欲しい。
- ・企業姿勢は良い。
- ・単なる内照ではなく路面照明を省エネタイプでできると良い。

会社名 アイエルビー株式会社

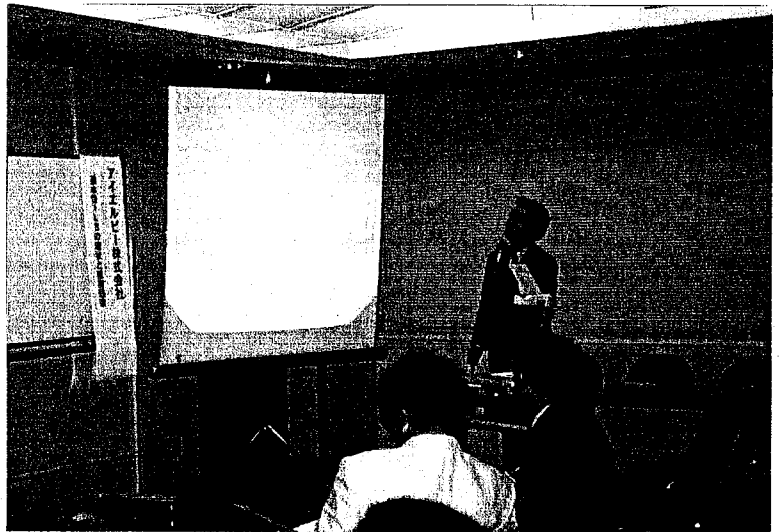
タイトル 透水性ILBの現状と機能回復

所在地 〒113-0033 文京区本郷1-28-23

TEL 03-3815-1711

FAX 03-3815-6448

プレゼン
担当者 柳沼宏始



◆アンケート結果

- ・「透水性」は本当に有意義なのでしょうか？ 他社製品についても同様ですが、ふと疑問を持ちました。
- ・丁寧な説明、内容も充実。しかし、類似商品が重なったので、プレゼン的には地味な印象。
- ・地球環境的課題からはセラロッサの方向が良いと思われる。この場合にゴミに含有される環境的に問題視される諸物質（日本で言われる環境ホルモン）の除去について実証する必要がある。メンテナンス整備の小型化は早急に行われる必要がある。
- ・透水性ブロック(グランバムストーン)の美装仕上げは、他社同等品と比較してうまく差別化が図れているように思います。
- ・機能面は良いが、面積が多い場合コストで苦しい。
- ・保水機能を取り入れてN o x浄化システムとの融合は？ →総合的環境資材としてのアピール
- ・強度を上げて薄いブロックとし、さらに透水性を上げることは出来ないのか？
- ・十分な機能回復が可能であることは、大変好ましい。
- ・水循環への提案にも切り込まれたらどうか？（商品化、サービス、e t c）
- ・セラロッサについて説明がなかったが、カタログを見ると非常に良いものと思える。色彩のバリエーションなどの説明がほしい。
- ・ウォータージェットマシンの改良に期待しています。
- ・透水性保持のコスト（イニシャル、メンテ）を記してほしい。
- ・ウォータージェットの効果についてもっと知りたい。時間配分はよい
- ・安定した製品となっていてOK。メンテ方式の技術進歩もOK。
- ・いつか使いたいです。
- ・大サイズ（600×600、450×450 e t c）？
- ・今後の課題解決へ向けての開発を期待しております。
- ・「セラロッサ」の方に興味があった。
- ・透水性は社会的要請でもあり、その取り組みを評価します。デザイン的にも自然な素材感が出てきている印象。積雪地、寒冷地でも積極的に利用できるような性能及び技術開発を期待します。
- ・環境負荷の軽減への効果が期待できると感じました。もう少し社会的なアピールをしても良いのではないのでしょうか？ 実に分かり易い説明でした。
- ・もっとPRしてもいいのでは？ 1枚のPR誌を発版するとか。
- ・透水性の確保には他の方法はないのか？
- ・苔、カビに似合う色合いが良い。目地排水もしくはこれの発展系はないか？
- ・透水性のある排水溝のほうが良いのではないか？

会社名 日本興業株式会社

タイトル ・緑化補助舗装材（グラススペーサー）のその後
・透水性舗装材のその後

所在地 〒105-0013 港区浜松町1-2-12 F1ビル

TEL 03-3438-2535

FAX 03-3459-6977

プレゼン 三輪 西川 伊賀
担当者



◆アンケート結果

- ・ペイブロックサンクミニは目地の透水性が期待できるのではないかな？
- ・グラススペーサーはとても便利だと思います。
- ・グラススペーサーPタイプの開発改良の経緯が分かり、良かった。良い商品と思う。重要な商品なので、頑張って開発して欲しい。住宅向けカーポートなど、小規模単純タイプを開発すると需要があると思う。
- ・廃棄プラスチックをスペーサーにするアイデアは大いに買える。グラススペーサーPはなかなか良い。ラインシントも（4mm）を入れて、透水性の確保と平常平面の心地よさ、雨初期の気持ちの良さの確保が出来るので、好感が持てる。
- ・グラススペーサー、いい製品だと思います。
- ・グラススペーサーについて、実績（芝が生き続けているかどうか）を知りたい。
- ・グラススペーサーPの強度（耐圧）はどうか。芝生が限界か？他の植物の可能性を探ることが地平を広げる。
- ・芝以外の地被植物利用の可能性と、より緑地が多いパターンを考える必要があり。
- ・グラススペーサーのプラスチックに若干疑問がある。環境ホルモンなど…。仕上がりの見え方はよいと思う。
- ・グラススペーサーについて、シンプルなデザインで一貫したらどうか（緑を主役にする）。
- ・グラススペーサーPは、良く改良されていると思う。ラインシントが粒度調整によって、本当に目詰まりしないのなら大変良い。
- ・ラインシントの今後のバリエーションに期待します。（ラインの入れ方等）
- ・グラススペーサーを利用する際のメリットについて充分説明すると面白い。透水性、温度低減 etc.
- ・技術開発とデザインOK。資源再生の姿勢もOK。
- ・グラススペーサーは、ぜひ使いたいです。
- ・グラススペーサー、幅広目地への応用？
- ・グラススペーサーPの施工性が少し課題があるように思える。施工性の改良に向けて、今後も開発をお願いします。
- ・グラススペーサーの改善は評価できる。以前導入を検討したことがあるが、芝のメンテが出来るかという点で拒否された。ラインシントも面白い商品である。
- ・グラススペーサーPは大いに興味を持ちました。使用する現場があれば相談します。ラインシントの表面テクスチャは興味あります。
- ・緑との併用の研究をされてはいかがですか。
- ・スペーサーに大きな穴をあけるあるいはかみ合わせを調整する形にはできないか。→プラスチックで改良か？
- ・プラスチックのゴミの将来が気になる。

会社名 株式会社コトブキ

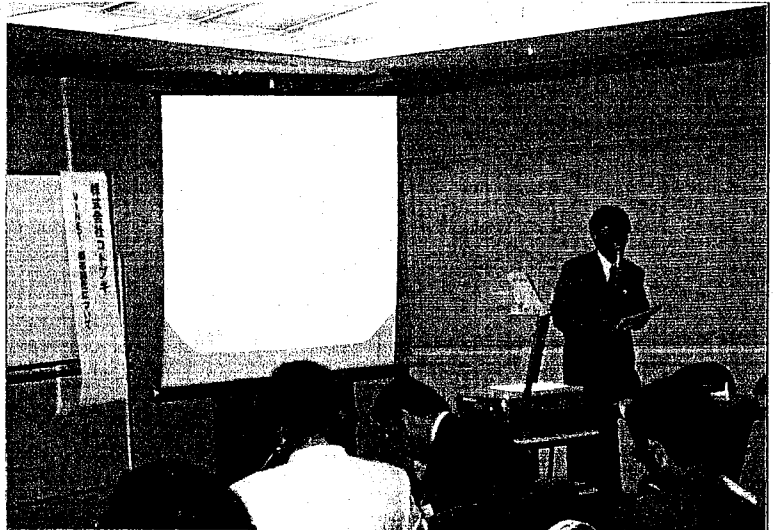
タイトル VINET 都市緑化について

所在地 〒105-0013 港区浜松町1-22-5

TEL 03-3438-4531

FAX 03-5404-7267

プレゼン 清水邦彦 小林大祐
担当者



◆アンケート結果

- メッシュの色が緑というのはむつかしそうに思いますが、グレー系の方がよくありませんか。
- 価格面でもう少し安くしないと使えないような気がします。
- 大変よい商品であると思う。PR不足ではなからうか？ 建築用材としてもっとセールスすべき。
- 考え方を否定するのではないが、一般に普及するにはコストが高すぎる。いわゆる高建築コストを維持する専門システムはいずれ減じる。ローコスト化を図らねば生き残れない。
- 安城市のデンパークで見たが、「構造物」のイメージではなく緑が主役という感じでよかった。
- 価格が高いです。
- コストが高すぎる。1/3~1/5にしないと。
- 生け垣が使えるところでは、使われないのではないが、むしろキャスターがついているもの等、この製品の特性を引き出せる所での製品開発に取り組んだほうがよい。
- ボラードを兼用するものがあるとよい。
- ネットのグリーンが少し鮮やかすぎないか。可能性は幅広くありそう。
- 試行錯誤にどれだけ対応できるか頑張ってください。
- よい製品だと思います。コストダウンに頑張ってください。
- 植栽がからんだ実例が見たい。パンフレットを見ていて（ニセの植物）不安を感じる。
- メンテナンス費用も高そうなのでコストの問題を解決する。
- コストが高いので使いにくい。時間配分がよかった。電柱に適用できないか。
- デザインも発想も良い。コストダウンして一般に普及をはかることが必要。
- 商品になるのか疑問。
- 保水、散水装置の組み込み、保水材の一体化。
- 価格面への研究、開発を是非！
- 地下埋設に伴う地上器（分電盤）の修景等の可能性を検討したらどうでしょうか。植物の適切な情報も兼ね合わせて提供したらどうでしょうか。（使いやすい樹種や効果など）
- 緑（植物）が全面におおってしまう事を前提にデザインされている感じで、もう少しパネル自体のデザインをほしい。
- つる植物に対応した材料の開発を。長さではなく、径（太さ）＝幹の成長に対応。
- よい製品だと思います。
- 歩車道分離柵で植物をはわせるタイプについて、植物が成長していないケースを見ます。植物の成長について何か工夫はしていますか？
- 給排水を考えると、建具の様に、矩体と組み合わせることの方が多い分野だと思うので、エクステリアとして単独の製品としては？ 壁面緑化に対する提案は面白かった。
- 電柱の足元緑化を組み合わせたらどうか？
- 単なるパネルでは面白くない。駐車場の外壁や擁壁との組み合わせは面白い。
- コストが安ければ…。

会社名 鹿島建設株式会社

タイトル コンクリートバック洗浄とエイジングのその後

所在地 〒107-0051 港区元赤坂1-2-7

TEL 03-3404-2011

FAX 03-3746-7203

プレゼン
担当者 柵瀬信夫



◆アンケート結果

- ・バイオニア精神に敬服します。
- ・メンテ方法として是非提案させていただきます。
- ・いつもながら大変おもしろいプレゼンで内容も刺激的でした。
- ・バック洗浄の方は着々と進められていて心強い。特に室内の洗浄は有望だと考えられる。
- ・バック商品のパンフレットはございますか？
- ・照り返しに対する対策であれば着色コンでもOKでは？ 壁面緑化に対する提案は面白かった。
- ・実にやさしい仕事とはすばらしい。何が主役かきちんとされている。
- ・今後に期待。
- ・魚道の効果は？ そ上する魚の量は変わったか？
- ・バック洗浄の進歩、何よりです。完成時にクリアラッカーを塗っておくことによりさらに洗浄が増す工夫はないか？つまりセットで閲覧する。
- ・静震被覆は使ってみたい。
- ・いつもおもしろい視点だと思っている。魚の感じ方ももっと分かるとよいと思う。
- ・毎年新しい発想に触れられて楽しい。
- ・洗浄したり、エイジングの作業そのものがイベントやまちづくりと連動しそうだ。
- ・良い提案を毎年出されて感心しております。今後の研究に期待しております。
- ・バック材に感心しました。考えつきませんでした。
- ・志田保護林として活用できるとおもしろい。
- ・話術が楽しかった。内容も素晴らしかった。
- ・長年の技術開発が実践されている点がOK。今後も是非新商品を開発してください。
- ・よく努力されているのを認めます。好感がもてます。
- ・大変面白く聞かせてもらいました。
- ・洗浄剤の保存寿命。
- ・エイジング剤ですが、コンクリート擁壁のエイジング効果はどんな形態が望ましいかを（具体的には色、触感等）もう少し追求してもらいたい。
- ・これからの時代（ストック時代）にふさわしい商品開発という印象です。
- ・すばらしい新技術とその改良例、感心しました。良いプレゼンテーションでした。
- ・コンクリートバック洗浄について、非常に好ましいと思います。エイジングについて、「らしさ」に対する本物化への研究を！
- ・あまりきれいににならないとか、エイジング効果を促進するとか非常に面白い。
- ・今後も頑張ってもらいたい。

会社名 東芝ライテック株式会社

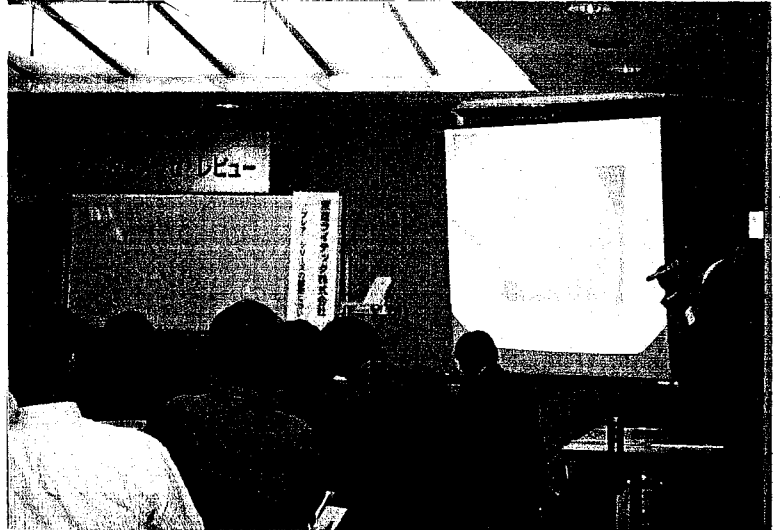
タイトル “プレア” シリーズの開発について

所在地 〒140-0002 品川区東品川4-3-1

TEL 03-5479-3953

FAX 03-5479-3959

プレゼン 大野 功
担当者



◆アンケート結果

- ・シンプルであるほど線の美しさは大切です。
- ・無神経で単調な＝無骨な線のデザインにならないよう願います。
- ・デザインの的に優れていると思います。
- ・物のデザインではなく光を中心に形がデザインされていて、とても良い製品だと思います。
- ・メンテについても光触媒を使っているのによいと思います。
- ・メッセとのあゆみ、良く分かりよかったです。
- ・プレアコンパクト以降は大変良くなっていると思う。あとはグレアの発生におけるやさしさを身につける方法の工夫か。
- ・プレアstはまだ開発の余地がある。
- ・酸化チタン膜の展開
打放しコンクリートの表面被覆に应用できるか。コストは。インテリアの汚れ防護等への応用は。
- ・酸化チタン膜の効果は、交通量との関係はどうでしょうか（排気ガスの多いところ等）。
- ・酸化チタンは今年は塗料メーカーでも一大ブームになっている。
- ・開発の経緯と開発、そしてJUDIのメッセが分かり易い説明で楽しかった。
- ・是非光触媒での汚れ防止を拡大してほしい。
- ・開発の方向は同調します。
- ・様々な組み合わせによる光の演出の可能性を追求して下さい。
- ・いろいろ努力が見えていて好ましい。
- ・いろいろな光の質が選べるのはおもしろい。
- ・形はもう少し黒子的で目立たなくすることが必要か。
- ・光触媒に期待する。
- ・器具のデザインがもう少しシンプルになると使いやすい。
- ・更にシンプルなデザインにして、多機能を総括的に組み合わせることができるようになったらどうでしょうか。
- ・モニターメッセを活用した商品開発の姿勢に感心しました。
- ・低位置灯の土木、道路環境への新しい展開など考えられないでしょうか。
- ・シンプルなデザインになったといっても、まだデザインされて（主張して）いるような印象を持ちました。
- ・酸化チタンの技術は独自のものを考えて良いのか。とすれば、交通安全関連の施設にも利用できそうだが。
- ・メンテナンスフィーも考えた、かつ照明メーカーだからこそ可能なアイデアを出して下さい。但し、デザイナーとの相談も忘れないように（一人よがりではいけない）。
- ・説明が要を得て良かった
- ・開発力に今後の可能性を予感させてくれて頼もしかった。
- ・モニターメッセの意見が製品開発に反映された努力にOK。
- ・今後の展開…充分あります。
- ・器具単体での自立型から、組込型への展開。
- ・公共で要望されるのは、灯具部分の強度が最大のポイント。
- ・最後のストリートシリーズの下方の強度開発を是非研究してもらいたい。
- ・モニターメッセの評価を反映した努力に敬意。
- ・更なるコンパクト化の可能性を期待します。
- ・メンテの可能性と維持費の追求をテーマにもらえれば。

会社名 伊藤鉄工株式会社

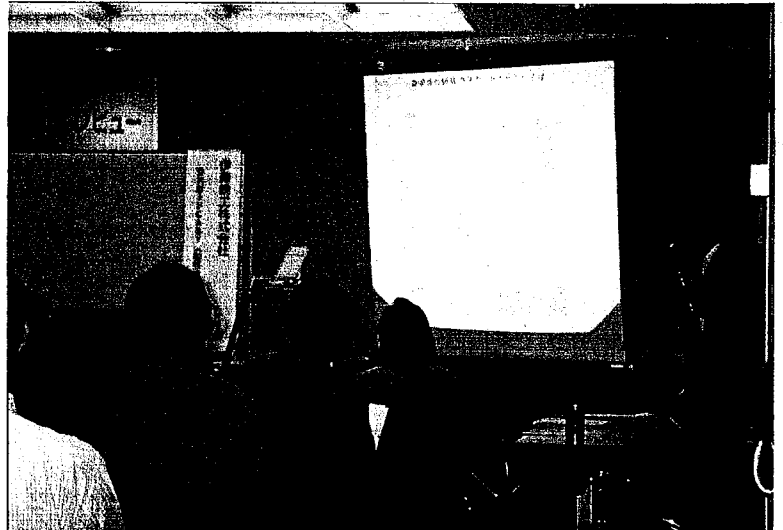
タイトル ラスガードCAST（耐候性鋳物）

所在地 〒332-0015 川口市川口6-3-14

TEL 048-258-3332

FAX 048-258-5560

プレゼン 篠崎 鈴木 瀬川
担当者 浅山 清水



◆アンケート結果

- ・鉄の素材の良さを生かせる素材だと思います。
- ・是非、カタログが欲しい。
- ・建設での使用実例を知りたい。
- ・あまり細かい研究の発表は、このようなメッセでは不要。
- ・質的には大変重厚で共感が持てる。問題はコスト。
- ・環境条件の悪い所と良い所の安定錆の生成比較データはありますか。
- ・赤錆色の高欄はすばらしい。今後の経過が楽しみです。
- ・全体や考え方は良いが、一部の部分的なサビが気になる。
- ・鋳鉄そのものが安くない。コルテンでコストメリットは？
- ・安定錆は錆であって、耐候性鋼板の錆と同様（錆だれ等）の状態にならないか。錆が手のひらに付着しないか。
- ・技術的に何が新しいか不明。
- ・メンテナンスフリーで大変良いと思う。
- ・安定錆が景観上も優れている事をもっとPRしたらいいか。
- ・鉄鋳物の良さは分かりますが、部分的にでも赤サビが出てしまうと、やはり使用をためらう向きもあると思います。
- ・是非使って見たいです。知りませんでした。
- ・通常品との比較を明示して頂きたい。
- ・説明は分かりやすかった。
- ・温泉街とか山間部等、立地条件の悪い所の対策は。
- ・材料の特性がうまくデザインに反映されている。
- ・メンテナンスフリーの素材としてOK。
- ・今後使用したいと思います。
- ・耐電食性？
- ・潮害に対する性能がどの程度かを知りたかった。
- ・鋳物の可能性を広げる取り組みである。
- ・安定錆の状況の説明がもう少し必要かと思いました。
- ・使用場所での事例を多く出されたらと思いました。
- ・PRが少ないのでは。
- ・他の景観材以外の対象物での展開の可能性を追求したらどうでしょう。

会社名 岩崎電気株式会社

タイトル 新型光源のレビュー

所在地 〒108-0014 港区芝5-1-2 クレール尾田ビル3F

TEL 03-3451-6111

FAX 03-3452-3140

プレゼン
担当者 筒木 大谷 根岸



◆アンケート結果

- ・紹介事例が多くより判りました。
- ・高圧ナトリウムランプの色温度のバリエーションの多さとツインアークのランプには展示会で見て感心しました。
- ・多くの事例を引用し発表も楽しかった。補助の人がいた方が良かったかも。
- ・ツインアークの価格が高い。
- ・光害への取組みは少ないエネルギーによって明るさを確保するという事が基本ではないですか。
- ・低位置用、フロアウォッシャー用のタイプの器具を開発してください。
- ・夏・冬用という事で2つのランプを一緒にして本当に効果があるのでしょうか。
- ・光源の色が異なるだけで景観に大きな変化がある。
- ・ツインアークは水銀灯、ナトリウム灯共に演色性が悪い。ハイラックスは色ムラが多いが演色性が良いので安定した色になる様期待します。
- ・光害の資料は役立ちます。
- ・ランプのサイズが大きすぎます。
- ・今後も光害に対する取組みに期待しております。
- ・光源の大切さを地方自治体に対してもわかり易くPRできる様期待します。
- ・ツインアークの高寿命をもっと売り込んでも良かったのでは。ランプ交換の頻度がメンテナンスの面で問題となっています。これに対する方策として、もう少しランプを見直しても良いと思います。
- ・メンテナンス費用の比較をした方が良かった。

会社名 黒崎窯業株式会社

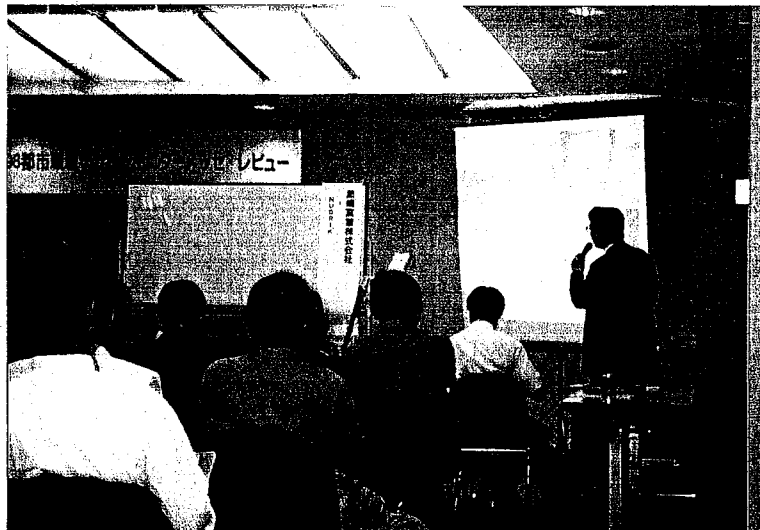
タイトル NUBRIK

所在地 〒103-0026 中央区日本橋兜町1-5-6

TEL 03-3669-0616

FAX 03-5645-7324

プレゼン 相津知秀 柏原幸雄
担当者 藤原久敬



◆アンケート結果

- もっと新しい材料がある。
- プレゼン意図が良くわからなかった。単なる事例紹介だった。
- 色彩が外国化する事日本の風景の色との対比と調和についてしっかりした考え方を持つこと。
- テーマパーク型の環境デザインと風土調和型の環境デザインにいかに対処するかを真剣に考えてください。
- ありきたりの施工例で10分の説明でも長い気がした。
- 安いレンガを！
- 木目レンガについてもう少しPRすると良い。
- 材質感が良いが、場所によっては赤が強すぎるように感じる。
- 車道の透水性を試みてほしい。
- 単なる事例紹介ではなく提案性のある商品コンセプトが望まれます。
- 横断歩道の写真がきれいでした。
- 盲人用ブロック等、機能と一体となって使用方法を研究してほしい。
- カラーバリエーションの可能性を示していただければ楽しいと思う。
- 訴える内容にもう一つ迫力を感じなかった。
- 総花的でピントが良くわからなかった。
- 時間配分も工夫が無かった。
- 車道のレンガ、メンテはどうするか？
- 色が明るすぎる。
- 車道部分の利用に対応してください。
- 透水性など環境に対する配慮も必要なのではないか。レンガはどうしても洋風になってしまうが和風の環境に合った商品開発を期待する。
- 車道と併せて施工すると暖かい感じでとても良い。広がりも感じる。
- 今回の説明ではニューブリックの良さがあまり伝わってこなかった。
- 御社の自社製造分は何処にあるのか。もう少しましな事例を見せてください。
- すべて輸入品なのでしょうか（点字の分も含めて）。
- 商社になってしまったのか・・・？
- 製造をしていただきたい。
- 貴社のイメージは製造会社から商社のイメージに変わっている。
- オリジナリティーによる対応を！

'98都市環境デザインモニターメッセ・レビュー参加会員

相庭 晴一	株式会社 I B A 環境計画研究所
秋山 裕史	株式会社秋山環境デザイン研究所
天野 光一	東京大学工学部土木工学科
伊藤 隆	株式会社リョーワ
伊藤 洋	有限会社 C A U ・ プランニング
井上 正良	株式会社アーバンデザインコンサルタント
井口 勝文	株式会社竹中工務店開発計画本部
大久保 裕文	有限会社大久保計画アトリエ
大塚 守康	株式会社ヘッズ
大沼 美佳	株式会社方圓館
大野 功	東芝ライテック株式会社
岡 道也	九州芸術工科大学環境設計学科
岡本 嘉久一	株式会社 I N A X 建材事業部建材商品開発室
折井 徹	株式会社キャストデザイン研究所
柏原 幸雄	黒崎窯業株式会社 景観材事業部
加藤 源	株式会社日本都市総合研究所
金井 欣一	セントラルコンサルタント株式会社
上井 正之	株式会社キャストデザイン研究所
川井 由寛	S L A スタジオランドジャパン株式会社

岸井 隆幸	日本大学理工学部土木工学科
工藤 勉	ヨシモトポール株式会社 大阪支店
窪田 陽一	埼玉大学工学部建設工学科
熊澤 雄一	株式会社都市計画設計研究所
倉田 直道	株式会社アーバンハウス都市建築研究所
後藤 保正	日本街路灯製造株式会社
櫻井 淳	株式会社櫻井淳計画工房
佐々木 政雄	株式会社アトリエ74建築都市計画研究所
白石 高啓	ゆにて設計事務所
杉村 莊吉	株式会社パブリックアート研究所
関根 伸夫	株式会社環境美術研究所
高瀬 裕	株式会社キャドセンター
高波 和由	アスザック株式会社
高橋 志保彦	神奈川大学工学部建築学科／高橋志保彦建築設計事務所
田中 一雄	株式会社G K 設計／東京芸術大学デザイン科
谷 明彦	金沢工業大学 環境・土木・建築系
近田 玲子	株式会社近田玲子デザイン事務所
富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス
中野 恒明	株式会社アプル総合計画事務所
永松 明子	株式会社 I N A X 建材事業本部 ^{IA} - ^ス ア ^テ ク ^ク 課

中村 豊四郎	アール・イー・アイ株式会社
成瀬 恵宏	株式会社都市設計工房
南條 洋雄	株式会社南條設計室
南條 道昌	株式会社都市計画設計研究所
西沢 健	株式会社G K 設計
西脇 敏夫	横浜市都市計画局
長谷川 弘直	株式会社都市環境計画研究所
笛木 坦	財団法人竜ヶ崎ニュータウンサービスセンター
府川 充	株式会社G K 設計地域計画部
黛 卓郎	株式会社プレック研究所
宮前 保子	株式会社スペースビジョン研究所
面出 薫	株式会社ライティング・プランナーズ・アソシエーツ
八木 健一	株式会社八木造景研究所
山口 博喜	株式会社タウンスケープ研究所
山名 清郷	財団法人都市づくりパブリックデザインセンター
吉田 慎悟	株式会社カラープランニングセンター
吉田 八郎	秩父小野田株式会社 セメント営業本部
吉田 博	東芝ライテック株式会社営業本部開発営業部
脇坂 和彦	株式会社サンポール東京デザイン室
和田 英雄	株式会社都市総合計画